

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			D 建設・整備事業	
事務事業名		大阪和泉泉南線			シート番号	
担当部署名		建設 局 道路 部 道路計画 課			評価責任者(課長名)	
					根兵	

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	6	まちの魅力向上と、賑わいと交流のまちづくりを進めます	後期実施計画の位置付け
			施策	3	利便性向上に向けた総合的な交通ネットワークの形成	有
	2	事業開始年度	平成 28 年度		終了(予定)年度	令和 3 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	都市計画法			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	南陵町交差点は、京阪神圏渋滞ボトルネック対策協議会の主要な渋滞箇所を選定されており、平日朝夕の通勤時間帯を中心に慢性的に渋滞が発生している交差点である。また、渋滞が起因と考えられる事故も見受けられる。このことから、幹線道路のネットワーク形成、安全・快適な道路環境の形成のため早急の整備が必要である。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか。)	道路利用者・災害時における避難者・被災者			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか。)	当該交差点南側の北行車線の車線数を増設することで、渋滞緩和及び交通事故の抑制を図る。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	都市計画決定:昭和21年5月22日 事業認可:平成29年3月9日~令和4年3月31日 事業区間:堺区霞ヶ丘町1丁ほか 延長:L=131m 道路幅員:W=22m 車線数:4車線 平成30年度は用地取得に必要な用地測量を実施			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 業務の受注者				

Ⅲ. 投入量

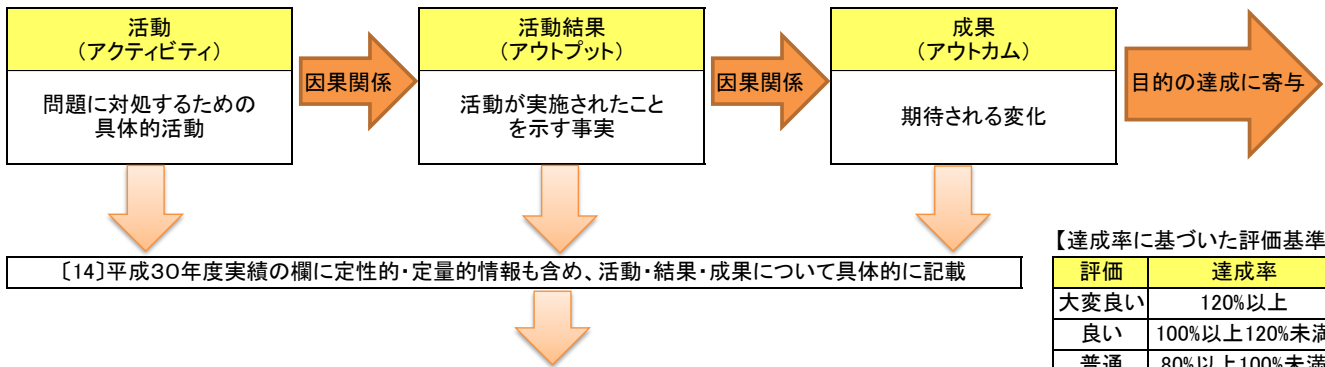
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11 事業費 (a)	千円	1,782	665	294	16,785	
	主な事業費内訳	工事費	千円				255
		用地費	千円				
		委託費他	千円	1,782	665	294	16,530
			千円				
	財源内訳	国・府支出金	千円				8,250
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				7,400
		その他()	千円				
	12 人件費 (b)	千円	8,780	5,206	6,586	4,676	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	10,562	5,871	6,880	21,461		

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	大阪和泉泉南線	シート番号	19-54
-------	---------	-------	-------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載

事業の活動内容や成果

平成30年度実績						
活動実績と成果	14	平成28年度から着手している大阪和泉泉南線事業について、平成30年度は用地取得に必要な用地測量を実施し事業を推進した。 [事業進捗] (用地取得状況) ○用地取得に必要な用地測量を実施。				
	15	目標				
	15	用地取得の実施				
	15	目標に対する実績	用地取得に必要な用地測量を実施			
16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
16		目標値				
16		実績値				
16		達成率				
16		評価				
16	算出方法・設定根拠など					

業績の分析

17	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析) ○土地所有者と鋭意交渉を行った結果、用地取得に必要な用地測量を実施することができた。
----	--

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。